

2019年 年頭のご挨拶

特定非営利活動法人 日本映像美術協議会

理事長 古田島 康

新年明けましておめでとうございます。

旧年中はJVAの事業運営にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年もよろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2018年秋には第13回JVA賞並びに第6回JVAフェスタ「美事祭」が、会員社そして関係団体の皆様の多大なご協力を賜り無事開催されました。“映画のまち調布市”様のご厚意により「調布市文化会館たづくり」での開催も3回目をむかえ、回を重ねます毎に認知度も高まり、多方面の皆様より高評価を得ております。

今回は大河ドラマ「西郷どん」さらに金曜ドラマ「チアダン」のセット展示そして薩摩琵琶の演奏など新しい試みも実現し、前回をはるかに上回るお客様が来場されました。今回の開催を通して映像美術に対する期待、そして可能性をあらためて感じるとともに、その可能性をどのように業界の成長に繋げて行くかというこれからの課題も見えてまいりました。

さて、日本は5月に新元号の時代が始まる平成最後の年を迎えました。世界情勢は様々な課題を抱え、どのような問題が生じるか予想しにくい不確実性をはらんだ変化の渦中にあります。産業界でもグローバル化とデジタル革命で既存の産業地図が大きく塗り替わろうとしているなかで、時代を変えるイノベーションを実現するため、待ち受ける試練を恐れずに新潮流にあった改革の必要性が叫ばれております。

デジタル化が進む映像産業は、昨年12月に8K・4Kの放送が始まり、3DCG・VR／AR・HDR・AIそして5Gなどの最新技術を融合させた新たなエンターテインメントの領域に入り、勢力図が変わるゲームチェンジが始まろうとしております。これらの技術を活かし、より臨場感あふれる映像ストーリーを実現するには、やはり我々美術の匠が不可欠です。我々映像美術業界が誇る現場力とこれら最新技術を掛け合わせることで、次世代のイノベーションが生まれるはずです。

映像美術業界の一端を担う我々JVAは、革新の波を的確に捉え先達の築き上げた貴重な匠を守りさらに進化発展させ未来の映像美術産業の成長につなげていくために、これからも事業を推進してまいります。

本年も倍旧のご支援ご協力をお願い申し上げます。

JVAフェスタ協力金のお願い

会員社の皆様にはいつも多大なるご協力を頂きまして誠にありがとうございます。第6回JVAフェスタ2018も無事終了しましたが、協力金が目標には到達しておりません。大変申し訳ありませんが、協力金へのご協力をお願い致したく存じます。まだ協力いただけていない会員社の皆様へ再度のご協力をお願いを本月報とともにお送りさせていただきます。2月の会費のご請求とともに協力金のご請求をお送りさせていただきたいと考えております。なにとぞご協力のほど、よろしく願いいたします。

2018年年末大懇親会収支報告

●2018年12月6日(木)PM6:00より、恒例のJVA年末大懇親会が、会員社、役員OB、JVA賞審査委員、ご招待者の皆様合わせまして出席者128名にて盛大に催されました。(懇親会の模様は写真で前月号にて、ご報告済)
多数のご出席ならびにご支援のほどありがとうございました。

●懇親会の収支報告

収入		支出	
会費収入	1,120,000	宴会	料理・飲み物、卓花、コンパニオン
お祝い金(高津装飾美術他)	30,000	その他	司会料、寸志、幕、撮影、交通費
		繰越	
合計	1,150,000	合計	1,150,000

2019年(平成31年)上半期予定

●理事会 次期事業計画検討、総会準備

日程	予定
2月13日	次期基本計画、事業計画検討
3月13日	予算検討
4月10日	総会議案書素案検討
5月8日	総会議案書二次案検討 5月31日決算
6月12日	6月初旬監査 総会議案書決定版制作
7月	定期総会、懇親会

●その他部会

部会名	開催予定
デザイン美術部会	適宜開催
美術専門部会	適宜開催
スタジオ部会	適宜開催
JVAフェスタ実行委員会	適宜開催
JVA賞実行委員会	適宜開催
『映像美術の歩み』委員会	適宜開催
事業委員会	適宜開催、見学会開催

定例理事会報告

●1月定例理事会報告

1月16日(水)PM15:00 JVA事務局にて

古田島康理事長以下 11名

- 議題
- 1.新年挨拶
 - 2.第6回JVAフェスタ2018、第13回JVA賞収支報告
 - 3.年末大懇親会 収支報告
 - ・会員社、ご招待、OB合わせ参加128名。
 - 4.その他、フェスタ総評
 - ・集客のプロが必要か。
 - ・賞は立体物をもっと。負担が偏っている。
 - ・場所ごとに役割分担。パンフは制作と印刷に負担。
 - ・展示がすっきりしていた。チアダンは良かった。開催時期はやはり11月。
 - ・パンフは次回2000部。チアダンの床が良かった。体験コーナーのQRコードの写真好評。
 - ・チラシが遅く広報ができていない。
 - ・理事会社だけでやっている。
 - ・世間が知っているプログラムは興味を深くさせる。
 - ・会員社の当事者意識をもっと。ゼロ工程の完成を。

- ・業界を認知させるためにも会の認知度アップを。
- ・フェスタだけでなくイベントを。
- ・ストーリー性をもっと。実行は運営委員がやる。
- ・入場者1,200→1,700は良かった。
- ・JVAとは、アプローチする相手は。
- ・セットがかかり過ぎた。

広報委員会/事務局からのお知らせ

●次回、2月定例理事会は2019年2月13日(水)15:00より

事務局にて開催いたします。

●時期的に最も寒い時期となりますが、お体に気をつけて業務にお励みください。